

令和元年度 政策づくり塾 第7回活動報告

第7回(11月8日)政策づくり塾は、読売新聞舞鶴支局 二谷支局長から広報について講義を受けた後、各グループに分かれて話し合いを行いました。グループワークでは、イベントの実施に向けて、具体的な活動内容を検討しました。

二谷舞鶴支局長による「広報について」の講義

二谷舞鶴支局長から、新聞記者の視点から、広報を行う際のポイントについて講義が行われました。

【講義内容】

- 広報を行う時は、中学生でも内容が分かるよう、誰もが身近に感じられる記事づくりに努めている。
- 取材をするかどうかは、内容に「話題性があるか」「新規性があるか」「特異性があるか」また、「写真映えするものか」ということを基準としている。
- 近年読み手の価値が「モノ」から「ストーリー」に移っている。そのストーリー性があるかどうかも重要になる。
- 公的なイベント(政策づくり塾で行う地域公共政策活動など)ほど、どのような思いを持って取り組んでいるのかを示すことで取材してもらいやすくなる。

【塾生からの質問】

- PRポイントは1つに絞るほうがよいのか、それとも複数あったほうがよいのか。
→新聞はタイトルを決めて情報を発信することになるため、1つに絞ったほうがよい。
- 多世代へのアプローチ方法を教えてほしい。
→舞鶴市の行っているメール配信は有効な手段であると思う。以前別の取材を行った時にメール配信でイベント情報を得たという人が多かったので有効な手段であると思う。
- 写真を撮るときに気をつけなければならないことは何か。
→テーマがはっきりと分かる写真を使用すること。舞鶴ミライ会議であれば、色んな世代の人が集まって話をしている写真を、ワクドキスポーツチャレンジであれば子どもが楽しくスポーツしている写真を配布チラシに掲載するとよいのではないか。



▲講義の様子

グループワーク・発表

各グループに分かれ、具体的な活動内容等について検討を行いました。

1. ワクドキスポーツチャレンジ

【グループワークの内容】

- スポーツ団体へ依頼をするだけでなく、身近な人へも声をかけ、コーチとして参加してもらえないか確認する。
- ラグビー等、市内に団体がないスポーツは、市内のスポーツ団体の紹介ブースで道具にふれてもらえるようなスペースを設けられないか。
- イベント後、子どもと保護者、それぞれにアンケートを行い、企画の効果を検証する。内容は今後検討する。
- 小学生やその保護者が使用する施設等にチラシの配架依頼を行う準備を進める。

【今後の予定】

- 参加者募集のメール配信を12月16日に開始。
- チラシを子どもが集まりそうな場所の窓口に配架を依頼。
- 小学校に掲示させてもらえるよう、教育委員会と調整。
- 広報まいづるは1月号に参加者募集の記事を掲載。
- イベント実施後のアンケートの作成。

2. 舞鶴ミライ会議

【グループワークの内容】

- 高校生の参加者を募るために市内の高校へ依頼に行く準備を進める。
- 1グループ2名程度の高校生と4名程度の社会人とし、4グループに分かれて会議を行う。
- ゲーム形式の会議を行うため、どのようなルールのものがよいか改めて検討する。

【今後の予定】

- 広報のメール配信等通じて開催案内を送付。
- イベント実施後のアンケート内容の検討。
- 市内の高校へ参加者募集の依頼を行う。



▲グループワークの様子